

# 昭和39年度総会ならびに春季大会告示

1. 期日 5月20日(水), 21日(木), 22日(金)
2. 場所 気象庁
3. 総会提出の議題募集
  - 1) 締切: 3月14日
  - 2) 宛名: 東京都千代田区大手町気象庁内日本気象学会 封筒の表に「総会関係」と明記のこと。
  - 3) 内容: 議題名とともに必ず提案理由をつけること。
4. 研究発表募集
  - 1) 講演申込締切: 3月14日(土) 必着
  - 2) 申込先: 東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎
  - 3) 様式: 必ず所定の用紙に記入すること(天気本号挿入), 用紙不足の場合は事務局または支部に請求されたい。
  - 4) 講演時間: 討論を含めて15分以内
5. 予稿集刊行について  
前回と同じ要領で予稿集を刊行します。予稿には必ず研究結果を記載すること。原則として予稿を提出しないものは講演できないことにしますから、講演申込者は必ず提出願います。  
なお講演申込者には予稿用紙を送りますから、送付先を記入して下さい。  
予稿提出先: 気象庁測器課 清水逸郎  
期限: 4月15日(水)

## 2月の例会

- |   |   |
|---|---|
| <b>主 題:</b> レーダー気象 (20分)                                  |   |
| <b>会 期:</b> 昭和39年2月18日(火) 17時より21時まで                      | <b>5. 高橋浩一郎(気象庁長期予報):</b> 8年および5年         |
| <b>会 場:</b> 学士会館  | 周期について (20分)                              |
| 講演題目などは31頁参照  |   |
| <b>主 題:</b> 数値予報  | <b>主 題:</b> 観測と測器                         |
| <b>会 期:</b> 昭和39年2月21日(金) 13時より                           | <b>会 期:</b> 昭和39年2月26日(水) 13時30分より        |
| <b>会 場:</b> 気象庁第一会議室                                      | <b>会 場:</b> 気象庁予報部会議室                     |
| シンポジウム  | <b>1. 橋本梅治(東航気):</b> 気温の代表性について (15分)     |
| 「非断熱効果を数値予報にくり入れること」について                                  | <b>2. 木村耕三(気象庁):</b> 観測値からみた「中域」の定義 (20分) |
| <b>話 題</b>  | シンポジウム: どのようにして気象現象を観測すべきか                |
| <b>イ.</b> モデルに導入する必要性                                     | 一とくに中域現象の観測方法について一                        |
| <b>ロ.</b> 非断熱効果 (1)凝結熱 (2)顕熱 (3)放射                        | <b>話 題提供者</b> 石原健二, 大沢綱一郎, 木村耕三           |
| <b>ハ.</b> 非断熱モデルによる予報又は数値例                                | <b>司 会 者</b> 有住直介                         |
| 自由討論  |   |
| <b>主 題:</b> 長期予報  | <b>主 題:</b> 融雪                            |
| <b>会 期:</b> 昭和39年2月22日(金) 9時30分~12時                       | <b>会 期:</b> 昭和39年2月28日(金) 13時30分より        |
| <b>会 場:</b> 気象庁中村記念館                                      | <b>会 場:</b> 如水会館                          |
| <b>1. 荒井 康(気研予報):</b> 500mb天気図の型の分類について (20分)             | <b>第1部講演題目</b>                            |
| <b>2. 大川 隆(札幌管区):</b> 極夜時期の循環の年のくせの出現とその季節予想への関連 (20分)    | <b>1. 野本真一(甲府気):</b> うず度性降雨の雨量予報 (20分)    |
| <b>3. 松倉秀夫(仙台管区):</b> 下部成層圏気温の6~7年の周期性と緯度変化との関連について (20分) | シンポジウム: (融雪) (電力気象関東地方委員会水気象研究会と共催)       |
| <b>4. 佐藤正夫(新潟地気):</b> 北半球相関場の一考察                          | <b>話 題提供者</b> 瀬下慶長, 石原健二, 他1名             |
|   | <b>司 会 者</b> 正務 章                         |